

# よこひな通信



12月号 令和4年12月23日発行

## 「内面的な力を育むウェルビーイング教育」

校長 片岡 充彦

VUCA（ブーカ）と呼ばれる予測困難な時代を生き抜いていく生徒たちが、「幸福で充実した人生を送る」ために必要な力とは何か、また、それを効果的にどのように育成するのか。OECD（経済協力開発機構）の「Education2030プロジェクト」は、こういったことを検討し、2030年の教育のゴールを「ウェルビーイング」に置きました。「ウェルビーイング」は、「心も体も社会的にも良い状態で、よりよく生きること」「幸せ」という意味です。こういった動きの中、数値で測れるもの（例えば、テストの点など）を重視する流れから、学力だけでなく、マインドセットや意欲、様々な経験をする中、自分を作り上げていく過程で、内面的な力を育むことが大事と考えられるようになってきました。改訂された学習指導要領は「子どもたちが、未来や社会を自分で切り開いていくための資質・能力を育てていく」ことを重要な方向性として位置付けて、それを学校で育成することを目指していますが、考え方は「Education2030プロジェクト」と共通しています。

\*マインドセット(成長型)⇒状況を前向きに捉え、現状を打破する方策を導き出すこと  
様々な教育活動の中で、次のようなことにポイントを置き、「内面的な力の向上」を効果的に育成できる手立てを検証していきたいと思えます

- 自己基盤を確立すること  
弱み、強みなど自分自身をよく理解する。できていることできないことを認める。自分を語る。
- 他者との良好な関係を築いていくために大事なこと      目標に向かってやり続けること
- セルフコントロールする力を習得すること
- 困難をどのように乗り越え、将来の糧に変えていくか

生徒が「幸せになること」を、大人があきらめてははいけないし、生徒自身もあきらめてははいけません。スモールステップで反復しながら、生徒が「幸福で充実した人生を送る」ための力を身に付けられるようにしていきたいと思えます。地域の皆様にも保護者の皆様にも様々な場面で、生徒を応援していただければと思えます。

来年も、本校の教育活動へのご理解ご協力よろしくお願い致します。